

地域密着型サービス自己評価票

- ・ 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- ・ 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して・・・)

記入年月日	平成 21 年 1 月 21 日
事業所名	グループホームらく
事業所番号	2372300794
記入者名	職名 氏名 一樂 直子
連絡先電話番号	0561-85-6960

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	・毎日、外へ出ることにより、普通の生活が出来る様心がけて居ります。 ・週に一度神社へ行きボランティアをして自分も社会に貢献している自覚、感謝の気持ちを持っていただけて居ります。	○ 喫茶店へ毎日行き、自然を肌で感じ金銭感覚を養い、第三者の方と会話をを楽しむ。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	・毎日同じ事の繰り返し全員で取り組んでいます。 ・家庭的に暮らせる様心がけて居ります。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・5年前に比べ地域の理解度は深まってきています。最近のご苦勞様とよく言ってくださり、協力もあります。 ・家族の方とは常に連絡取り合いあい話し合っています。	○ ・以前の所より住所変更、移動。地域の交流は深まり幅広く多くの人達と関わりが出来ました。グループホームの内容 前より多くの人に伝えられ、見ていただけて居ります。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の途中で、立ち寄って下さったり、花を見て声をかけて下さったり、気楽に声をかけてくださいます。協力を求めたり、深まりつつあります。	○ 運営委員会に参加していただいた地域の方々に理念を説明して、理解を深めてもらっています。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・声かけて下さる方の行事、神社の催し、出来る限り参加する様心がけて居ります。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	G・H運営推進委員会を通じ消防署の救急救命士に参加していただいたり、これからも参加を呼びかけていきたい。	○	外出することにより、他のお年よりが集まってくる様になりました。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	理解し、第三者の意見として出来る限り改善出来る様取り組んで行きたいと思えます。		
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の方達とも共有して居ります。市役所方にも報告、意見も求めています。	○	家族の方に一人ずつ交代で参加していただき意見交換しあい、市役所高齢福祉課の参加もあり、その都度、必要事項の方に出席（業者）していただき、参考にさせていただきいつも活発な意見が出ています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	瀬戸市担当者からの連絡もよくあり、こちらの方も報告に行ったり立ち寄って居ります。そして意見をいただいています。	○	良く報告をします(入院、退院) 家族がこうなりました。常に連絡を取りあい、指導をあおいでいます。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在は1名ですが、きずなの会でお世話になって居ります。現実の方がありますので理解はあると思っております。NPO法人「きずなの会」の職員からいろいろ学ぶ機会を作っています。	○	運営推進委員会に出席していただき（業者）説明していただき、出席者と話し合い、質問もたくさん出て理解深めていただきました。現在、活用者2名です。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	防止に努めると同時、全員の方がやってはいけない事と思っていると思えます。	○	見のがす事なく報告の義務を伝え、文章で、言葉で伝えていきます。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	充分、説明、話し合いをしているので理解、納得されていると思います。又、行き違いのない様、一カ月に一度は（最低限）話し合いはして居りますので納得されていると思います。	○	月末、月初めには最低限きていただき時間を取り話し合いをして居ります。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	その人の状態素早く把握、話し合いをよくしたり、その話の中から素早く組み取り運営するにあたり、反映させていただいています。	○	話し易い環境の場を設けてよく会話する様心がけて居ります。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	少なくとも一ヶ月に一回、多い人で数回（その都度）連絡させていただき報告させていただいています。	○	変化のおきた場合はその都度、連絡させていただき、最低限一ヶ月に一度は報告させていただいています。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	同じく相談窓口を設けたり、会話、連絡を密にして、意見を受け入れ、運営に反映させていただいています。毎月、利用料金を持参願っています。そのときに介護計画書を渡しながら意見を聞く機会を作っています。	○	苦情相談窓口を設けています。今の所そこまで至る方は見えず、話し合いでお互い向上出来ますよう意見求めています。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	提案は常にあり、すぐ実行していただき反応よき事は持続して続けていただきます。	○	利用者のレクリエーション、良いと思われる介護おまかせして自発的に実行していただいています。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の状況、家庭の状況に応じ職員を確保している。緊急時に対しても快く職員が応じてくださる為、助かって居ります。感謝して居ります。	○	利用者の家族の状況に応じ必要時間帯組ませていただき、残された部分は役員で勤務の調整しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	その事を基本として配置させていただいています。常に利用者の精神的状態を把握しながら物事おこして居ります。安定を求めて配慮して居ります。	○	職員の年数は長い人が多いのですが、異動のある時は交流の機会を多くして慣れていただき安心した生活が出来る様心がけて居ります。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	家庭環境、本人の意思を確かめ順番に研修を受けていただいています。資格に応じた研修も受けていただいています。		
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修に出ていただき、交流を深めてもらったり、G・H相談委員会を通じ交流していただいています。	○	グループホームブロック会議、研修会を通じ他の業者との交わりを持っていただいています。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	出来る限り、本人達の家庭環境に応じシフトを考えたり、仕事やりやすい様に環境作りに気をつけて居ります。本当に大変と感じた時は代わりにやらせていただく様にして居ります。		
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	出来る限り、悩みのないように、家庭環境を整えていただき楽しく仕事出来る様に本人の要望を取り入れるよう心がけて居ります。それがないと良き介護は出来ないと思っております。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用に至るまで充分話し合い、毎日会話をする。不安がなくなるまで、よく話しを聞き、人間関係深めて行きます。それが終わらないと介護が始められません。	○ 連絡取り合ったり、又、訪問したり、又、来ていただいたりして交流を深め、よく話しを聞き、不安を取り除いていただくよう努めて居ります。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	毎日、利用者の方の精神状態見ながら、家族の方の精神状態も計ります。家族の方が落ちれば利用者の方も落ち着きますので、重要な事と思っています。	○ よく話は聞きます。又、相談にも訪れます。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を求めているか、何を望んでいるか、会話の中で早く見極め対応する事が早く落ち着きます。不安を取り除く事が出来ます。	○ よく話しを聞き、ポイントをつかみます。そして話し合います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	①訪問 まず家庭におじゃまして家庭の人と会話する人だと 思っていたく(安心感)。 ②通所 通っていただき家へ送ってもらえるのだと安心していただく。 ③宿泊 慣れて、泊っても送ってもらえるのだと安心していただく。 ④入居 そして入居していただく。家族も本人も精神的に安定し一ヶ月に1度帰っても見てくださる余裕が出てきてます。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	仲間としてよく会話をし、昔の方法、やり方を教えていただきます(得意分野それぞれち違ひますので)。会話の中で素早く感じ取り、本人には介護されると感じさせない見守りで生活をします。	○ 仲間です。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	今までも、現在も共にのりこえてきた人達ばかりです。最初の頃の事を考えると皆様、笑顔を取り戻し、生き生きしてきています。そのような状態で会話できた時はとてもうれしいです。よかったと思っております。	○	家族の方から、最初悩んでいた事がうその様ですねとよく聞きます。人間精神的余裕が出来ると考え方にも余裕が出来るようです。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族にも頼みやすく、又、頼まれやすくなる関係をいつまでも密にして続けていきたいと思っています。私も家族の方達に支えていただいている感じます。	○	常に交流ができ、長い人で、6年強です。（現在G・H入居者の方）
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り支援しています。又、家族にも協力していただいています。	○	一ヶ月に1度、自宅に帰っていただき馴染みの場所、人の協力をいただいて居ります。楽しく過ごしてくる様です（本人は、すぐ忘れていますが）
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それが私達の仕事だと思っていますので、悟られないようスムーズに会話の輪の中に入り全員が会話出来る様、その時の状態に応じ孤立する事のないよう考えて居ります。（実行して居ります。）		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	おやつを持参して下さったり、紹介して下さったりありがたいです。	○	現在G・H退所され老健、特養紹介し入所された方ほとんどの方はつながりがあります。年に三度大量に飲み物送って下さったりおやつ届けて下さったり機会ある事に協力して下さいます。ありがたい事です。（例；パンフレット作り、移転のお知らせ作り、引越し、らくの内容お知らせ）

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	大きな決め事の中で、本人のこれまでの生活歴を大切にし、実行して居ります。本人、家族とよく話し合っています。能力ある利用者には要望を聞きます。	○ 冷房、暖房。昔なじみの、その人その人に合わせています。(例：冬・・・湯タンポ、電気ゴタツ、電気毛布、電気カーペット、毛布のみとかいろいろ)
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本で、その事がわからなかったら現在の生活に支障が出てきます。常に求めて居ります。利用できる事は取り入れ、生活していただいています。	○ 家族との会話の中で細かく聞き取ります。利用者本人ともよく会話し聞きます。(そんな事言っていないとすぐ忘れませんが)
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に一人一人の変化に注意して、生活して居ります。見のがすと大変なことになりますので。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族とよく話し合い、必要に応じてその人に関する事は協力していただいています。そして、意見をいただき、それを基にして計画させていただきます。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	変化が起きた場合は、まず、家族に連絡し、職員とも、そして話し合い、総合的にまとめ、計画を見直しさせていただきます。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録、又、別紙に書きとめながら（共有しながら）計画の見直しを計ってます。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人の状況の変化の出来た時、家族の人と話し合いながら、本人の一番良い状態の介護に切り替え支援してゆきます。	○	一日生活の大筋は決まって居りますが、その中でも一人一人の機能に合せ、よく要望を聞き取り、状況、状態把握しながら支援して居ります。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	声かけ、意向を示し協力をしていただきます。これから移転先より広げていける様これからの課題としてがんばりたいと思います。	○	民生委員・・・運営推進会議 ボランティア・・・常に連絡、協力体制 消防・・・研修、訓練 参加、協力していただいています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要が生じた時、支援していただける業者ができるまで支援し協力する。以後のフォローもして居ります。訪問します。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	まだ、協働とまでいきませんが紹介はあります（利用者）。これから密にしていきたいと思って居ります。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	担当医と相談しながら、利用者の健康状態を細かく伝え、適切に指導いただいております。又、電話もよくいただきます。	○	定期的に月曜日、金曜日を（午前中）病院へ行く日と決め、ドライブがてら定期的に検診、薬、指導いただいております。
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認定調査の時は病院で長谷川式をやっていたり、会話していただいたり認知症を理解していただいております。		
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	担当医の指導のもとで看護職員、薬剤師が薬、日常の健康管理とよくやっております。		
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院した時は担当医の先生から、よく電話があり、入院後の指導、現在の状態を知らせていただけます。こちらからも担当医に連絡させていただきます。	○	必ず家族とともに結果、指導（サマリー）をいただきに行きます。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	まだ意見が分かれて居り、全員で共有するまでは至って居りません。これから、取り組んでゆく事項であるとは思っております。	○	園の方針が決まりましたら共有できますが、今の所、らくの方針は全員で共有出来て居りません。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	らくに5～6年長く見える方がたくさんいます。その中でも1名、入院したり、退院したりの方が見えます。順番に状況に応じ介護して居りますが、終末期に向けての検討は行なって居りません。これからの課題です。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	今回住み換え（移転）がありました。混乱を覚悟して居りましたがほとんど混乱はなく、場所も重要ですが人なのだと実感いたしました。なじみの職員の方が第一でした。実感！！		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けには充分注意しております。さりげなくわからないようにするのが私達の仕事である。信頼していただく第一歩です。記録にも気をつけています。		
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	その人その人の能力に応じ共有した言葉かけ働きかけをして居ります。能力に応じ話し合っています。		
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大きな決め事がありますが、その中でも一人ひとりに合せた速度、内容を十分把握し、その人その人のその日の健康状態に合わせ支援して居ります。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	出来るだけ本人の意志を優先し、意志を聞いてから支援して居ります。	○	92歳の人でも身だしなみ、おしゃれはすごいです。毎日、外へ出ていますので、服装は気にしていますので本人の希望の美容院、服屋さんへ出向いて居ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	意志のある方には一緒に買い物に行ったり、食べたいものを全員でいただく。全員で協力しながら、その日の健康状態に合わせて片付けをやって居ります。	○	時たまこれが食べたいと言葉にする利用者連れ買い物に行きます。そして皆様といただいて居ります。片付け、食器洗いは全員で一人ひとりやっていただいて居ります。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在の所、お酒、タバコは実行した事ありません。飲み物、おやつは希望をきき、出して居ります。	○	希望者、家族の同意を得て居酒屋、串カツ屋へと出かけます。お腹一杯食べ少々のお酒をのみ満足して帰ります。(健康状態良好の時)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	便を失敗する方はありますが(少しパンツにつく)全員おむね習慣でお手洗いで出来て居ります。	○	主治医と連絡を密にして、緩下剤を自己調節し気持ちよい排泄ができるようにしています。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日ですが、健康状態、血圧の状態で話しをしてやめていただく人が時たまあります。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の意志、希望にまかせて居ります。体調はその人にしかわからない!!(うそか本当の見極めはむつかしいですが)	○	家族の要望と本人の意志通り、布団、冷、暖房は各々違います。昔の生活状態を取り入れて寝ていただいて居ります。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ほとんどの方がすべて何でも出来るので行事は楽しんでいる様です。何かやろうと常にけしかけられます。	○	一人一人の生活歴にあうように心がけて居ります。同じことをするのも素早く対応出来て居ります。


項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	喫茶店で金銭感覚は把握して居ります。能力に応じ財布を持って居ります。	○	金銭感覚はその人の能力に応じ、家族の意向も聞き管理して居ります。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、喫茶店に行くのを楽しみにして居り、習慣になって居ります。その季節に応じ、例えば花があれば車から降り見てみたり、歩いてみます。	○	毎日の喫茶店、週1回の神社参拝その他、その都度に合せた外出。常に普通の生活を心がけて居ります。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の方と一緒に食事に行ったり、一ヶ月に一度は家に帰り、自分の行きたいところを楽しんで来てもらっております。家族の方に協力していただいております。ありがたい事です。精神的安定が計れます。又、違う喜びの様です		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	能力に応じ連絡させていただいたり、(電話してほしいと頼まれると)手紙は本人の言う通り代筆をしたりして返事を書いています。又、返事がくると、とてもうれしそうです。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	自由に出入り出来るようになって居ります。おやつ、野菜のさし入れ助かって居ります。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	してはいけない行為だと自覚していると思いません。していません。正しく理解しているかどうかはまだ、全員に確認していませんので、これからの課題です。	○	身体拘束はありません。しなければいけない状態も現在の所ありません

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	全員落ち着いて見えるので鍵をかける必要はありません。反対に鍵してある？と聞かれ、あぶないヨと鍵をされてしまいます。(時たま)		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	それが私達の仕事だと感じて居りますので、悟られないように何気なく把握させていただいています。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	家族の方と充分話し合いをし取り除く物は協力していただき、能力のある方には説明し、納得していただき、取り除かせていただいています。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人一人の状態を把握し、伝達し充分気をつけて、介護させていただいて居ります。		
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的とはいきませんが、必要に応じ再確認の為、消防署の方に来たいいただき、救急救命士の訓練を何度かしていただいております。実際に動いてみて勉強になっているようです。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	緊急の為の協力体制を近所の方に依頼して居ります。移転してからは(9月)実行しておりませんので実行に移せる様、協力をお願いしていきたいと思っております。	○	移転先でも隣近所に協力体制依頼しました。快く了承していただけました。運営推進委員会にもいつも参加させていただいて居ります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	家族の方には細かく電話で伝えたり指導して いただいたり、さりげなく対応策を考え実行して 居ります。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努 め、気付いた際には速やかに情報を共有し、 対応に結び付けている	一日三回の健康チェックにより、素早く異変を 発見し、伝達し迅速に対応できるよう出来るよ うにしている。必要に応じて、すぐ病院へお連 れして居ります。家族の方にも電話で連絡させ ていただきます。	○	迅速の為、だいじには到らない。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目 的や副作用、用法や用量について理解してお り、服薬の支援と症状の変化の確認に努めて いる	薬局でいただく薬の内容を読んでいただき、把握 していただいています。又、薬剤師より、指導い ただいています。	○	薬の管理、指導は高橋より（管理者）よく聞き 職員にも伝達されている。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、 予防と対応のための飲食物の工夫や身体を 動かす働きかけ等に取り組んでいる	予防のため、食材を検討したり、主治医の処方 する緩下剤を屯用するなどして気持ちよい排便 を心がけている。	○	飲み物、食べ物は心がけて居ります。（水分補給 の湯、食べ物） 毎朝のラジオ体操、ストレッチ、リハビリ体操、 行進等
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食 後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援 をしている	朝、夕は生活歴の方法でやっていただいています。 昼間は一人一人口腔ケアに取り組んで居ります。		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通 じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、 習慣に応じた支援をしている	家族の方と充分話し合い、調整をさせていただ き、必要カロリーに近づける様バランスをと ります。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	対応マニュアルを作成していて、必要に応じ実効、実践して居ります。（例：病院より帰ってくると必ずうがい、手洗いをする。）	○	<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアル ・外出後の手洗い、うがい ・予防注射 ・定期的健康診断
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	出来る限り消毒。清潔が保てる様、心がけて居ります。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、消毒心がけてます。 ・煮沸 ・新鮮
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節感のある花を植えたり、野菜を植えたり、話のきっかけ作りの場を作っています。利用者の方もみそ汁の具として取ってくる（抜く）事を楽しみにしています。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	現在の所、快適に過ごしていただいている様です。以前、利用者の方の第二の人生の住まい作りの希望を言ってもらい要望通りの一番近い一軒家を選び取り入れました。（一番近づける様に）	○	「平屋の一軒家に住み（地震対策）庭のベンチに座り、花をながめていたい。」そうです。（ただし、4～5名がいいそうです。）
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	その日の状態、状況を把握し安心して過せるよう、利用者に合うよう改善を重ねて行なってます。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合った同志で会話出来るような机の配置。 ・部屋へ自然と入れるように

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の方と話し合い、必要な物、必要でない物の取り決めをします。又、能力に応じ、家庭環境に応じ最低必要限を確保します。能力ある人には、本人とも話し合います。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気は細心の注意を払って居ります。その人その人の身体状況に応じ調整をしないと血圧の状態、すぐ変化する人が出てきます。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	改装の時、見守りで自然の行動生活ができる様な配置で改装していただきました。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	部屋の前には自分の顔をはったり、お手洗いにはわかるようにシールをはったり、その時の各自の状況に応じ工夫して居ります。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	一緒に草抜きをしたり、野菜を植えたり、花を植えたり、花に水をやったり、外を掃除したり、自然な形で動いています。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・一日3回の健康チェックで素早く、健康状態が把握できる。対応早く最小限に抑えられる。(健康)
- ・毎日、外へ出る事により、自然の季節感を肌で感じ、すぐ忘れませんが、花を見て季節がわかる、自然の生活をさせていただくことができる。(自然にふれる)
- ・喫茶店に行くことにより、出かける楽しみ出来、水分補給が自由に出来る。第三者と出会う。(金銭感覚、第三者交流)
- ・週に1度、神社に参拝に行くことにより、感謝の念が習慣で出来てくる。ボランティア参加で、自然リハビリが出来る。(健康、リハビリ、感謝)